

技術ノート KGTN 2010062901

現象

GMFileProc のファイル処理の手順を知りたい。

説明

GMFileProc は、以下の順序でファイル进行处理します。

- 1) 対象ファイルの抽出 (fileDir, fileExt)
- 2) 抽出したファイルのフルパスを引数としてプロセスを起動 (progPath, progArgs, フルパス)
- 3) プロセスの終了待ち (progWait)
- 4) ファイルをバックアップフォルダへ移動 (fileDir, fileBackup, fileMove)
- 5) 上記 2~4 を抽出したファイル全てについて実行
- 6) 対象フォルダのファイルを削除 (fileDir, dayDelete)
- 7) バックアップフォルダのファイルを削除 (fileBackup, dayDelete)

注: 括弧の中は、処理に関連する GMFileProc.ini ファイル中のパラメタです。

参考

GMFileProc.ini の設定のサンプルを以下に示します。GG-StatusLoad.exe は、C:¥SHARE¥GG-Status に置かれた ????.dat というファイルを引数に取り、遅くとも 30 秒以内に処理するようなプログラムです。処理が完了すると、そのファイルは C:¥BACKUP¥GG-Status へ移動されます。さらに、移動されたファイルは（作成日時より）15 日経過した時点で削除されます。

```
[default]
LogLevel      = 1
dayDelete     = 15
progPath      = C:¥GraphOn¥Bin¥GG-StatusLoad.exe
progArgs      =
progWait      = 30
fileExt       = dat
fileDir       = C:¥SHARE¥GG-Status
fileBackup    = C:¥BACKUP¥GG-Status
fileMove      = Y
```

Last reviewed: Jun 29, 2010

Status: DRAFT

Ref: NONE

Copyright © 2010 kitASP Corporation